

ごせん 農業委員会だより

第60号

－発行－
五泉市農業委員会
新潟県五泉市太田1094-1
TEL (43)3911
－発行人－
会長 松尾 タカ子

「2024女性農業者の集い」が8月22日に開催されました

佐藤可奈子氏 講演会

世界有数の豪雪地帯、十日町を輝かせた

佐藤 可奈子さんから聞く

いまこそ自分を「主語」に語ろう

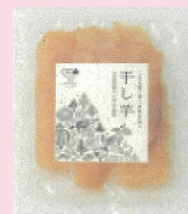
知恵の車座 (対話型ワーク)

相談者を決めてみんなで悩みを
解決するために知恵を出し合いました！



women farmers japan株式会社
代表取締役 佐藤 可奈子 氏

wofa※の皆さんが
生産している
ほしいものがこちら！



※women farmers
japanの愛称

～ 佐藤 可奈子氏 経歴 ～

wofa HP▶



- ・香川県高松市生まれ
- ・在学中に十日町市の中越地震復興ボランティアに参加したことをきっかけに、2011年集落へ移住・就農
- ・2018年農園を法人化。「里山農業を、心うごく世界に」をコンセプトに農村女性の自立支援等に精力的に取り組む
- ・2024年ニイガタIDSデザインコンペティション大賞受賞等、多数の賞に選出・受賞

今こそ自分を「主語」に語ろう

五泉市女性農業者の集い実行委員会
委員長 酒井 美奈子 (大蔵)



8月22日、女性農業者の集いを開催しました。48名の女性農業者等が参加しました。

第1部は、women farmers japan 株式会社代表取締役を務める佐藤可奈子さんの講演でした。幸福感を継続するための日常的な取り組みを紹介していただきました。

第2部は、5名程度のグループに分かれ対話型のワーク「知恵の車座」を行いました。

この集いに参加すると、色々な発見や楽しみがあります。そして人とのつながりも生まれます。皆さんの参加をお待ちしています。開催にあたり、ご協力いただいた各関係機関の方々、ありがとうございました。

五泉地区担当



夏の農地パトロール強化月間(7・8月)の報告、 農地利用状況調査を実施

農地パトロール を終えて



農業公害遊休農地対策委員会
委員長 権平 孝男

農業委員会では、8月2日に各地域の農業委員、農地利用最適化推進委員に事務局職員が同行し、市内全域の農地パトロールを行いました。当日は天候に恵まれ、気温が30度を超える真夏日となりましたが、順調に調査をすすめることができました。

遊休農地の実態把握や違反転用の有無などについて、タブレット端末を活用した現地調査を行い、状況を確認したところです。

今回の調査結果に基づき、適正な管理がされていない農地については利用意向調査を行うなど、優良農地の保全と利用促進を図っていきます。

村松地区担当



農業者年金に
加入しませんか



◇次の条件を満たす方は、どなたでも加入できます。

- ①年間60日以上農業従事者
- ②国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
- ③20歳以上65歳未満の方(60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)
- ④DICOと国民年金基金に加入していない方

◇保険料は月額2万円から6万7千円までの間で自由に變更できます。

◇一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助がでる「政策支援加入」という加入方法があります。

◇加入できるかどうか等、詳細については事務局までお問い合わせください。

市の農業施策に 関する意見・回答

農業委員会等に関する法律の規定に基づき、本年度も市長へ意見書を提出し、回答を受けました。その要旨をお知らせします。



田邊市長へ意見書を提出(令和6年8月9日)

意見① 遊休農地の発生防止のために、市や再生協議会等で歩行用の草刈り機の購入・貸出やフードバンクへ農作物を寄付する、花を植える等の

取組みを検討してほしい。

回答 五泉市農業再生協議会において肩掛け式刈払機等有償で貸し出す事業を実施しているが、さらに歩行用草刈り機の導入に向けた検討を進めていく。

意見② 農業機械の購入や施設の修繕など経営支援に繋がる制度の新設や拡充をお願いしたい。

回答 農業機械などを導入の支援策として認定農業者等の担い手には「強い農業経営づくり支援事業」を、担い手以外の農業者には「がんばる農家営農継続支援事業」を実施している。実情に沿った支援の実施に向け、調査・研究を進めていく。

意見③ 駆除を行う猟友会に対する日当の増額や電気柵等導入支援の拡充、イノシシにより破壊された畔の復旧費用に対する補助事業の新設をお願いしたい。

回答 有害鳥獣については出沒地域が市内全域に及ぶことを確認している。猟友会へ委託している害獣捕獲・駆除の契約額については、今後も双方で協議していく。電気柵等の導入支援については、令和5年度に補助上限5万円から10万円に拡充している。畔の復旧費用については、事例の研究を進めていく。

意見④ 小学校向けの食育ビデオや五泉高校向けの農業分野のビデオ教材を視聴してもらうだけでなく、農業に興味をもってくれた人との交流の場や畑作体験等を検討してほしい。

回答 農家との交流や農作業を体験してもらうことは有効だと考えている。農協や生産組織、農業法人など関係組織と連携した取り組みが行われるよう、先進地の事例を調査・研究していく。

意見⑤ ラポルテ五泉で朝市

のようなイベント等を開催し、五泉産農産物等を販売する機会をもっと増やしてほしい。

回答 毎年10月第2日曜日のさといもまつり、11月3日の農業まつり等のイベントで特産農産物のアピールを進めている。販売機会の増加という点から、ラポルテ五泉で朝市を開催できるか、指定管理者に提案していく。

意見⑥ 昨年の農業委員会からの意見に対して回答をいただきたい。

回答 昨年度ご要望いただいた市独自の新規就農者支援策については、五泉市ニューファーマーズ応援事業において、令和6年度より補助対象年齢を引き上げており、より一層農業後継者の確保と育成を図っている。その他の要望についても引き続き現在の農業情勢をふまえたうえで検討していく。

8月26日～27日

山形県中山町農業委員会 視察研修で来泉

◆中山町の紹介

中山町は山形県のほぼ中央部にある、山形県内の市町村で一番面積が小さい町です。(31・23km) 人口はおおよそ1万人、町の北部には山形県の母なる川「最上川」が流れ、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた村山盆地にあります。

山形名物「芋煮会」の発祥の地とされる地域で、例年9月に芋煮会イベントを開催しています。特産はさくらんぼ、桃、りんごなどの果樹栽培が盛んで、中でも「すもも」は東北随一ともいわれる生産量を誇ります。



Map-It マップイット | 地図素材サイト

◆視察研修の目的

芋煮会の発祥の地とされている中山町ですが、町にはさといも畑は無く、2、3年前に新規就農者がさといも栽培を始めたそうです。中山町農業委員会では、地域活性化の一環として、さといも栽培が増えることを願い、「さといも」が有名な五泉市に魅力を感じ、生産者との交流や実際に圃場を見学し、さといも栽培に適した環境や栽培方法について話を伺いたいということで、農業委員、推進委員、事務局職員11名が当市を訪れました。

【1日目】

新潟かがやき農協五泉園芸組織連合会のご協力のもと、三本木地内のさといもの圃場見学を行いました。さといもの太い茎を見て山形では茎も乾燥してお汁に入れて食べていますと教えていただきました。

ラポルテ五泉へ移動して、新潟かがやき農協五泉一本杉集配センターの柄澤様から、五泉市でさといもが栽培が始まった経緯やブランド「帛乙女」の特徴などお話を伺い、情報交換を行いました。



さといもの圃場視察の様子

【2日目】

五泉東公園歩楽和交流館に於いて「五泉市の農業について」と「地域計画の策定について」をテーマに農林課稲田係長と農業委員会阿部係長が五泉市の現状や取り組みなどを紹介し、その後、当市農業委員会の役員と中山町農業委

員の皆さんとで遊休農地対策など日頃の活動について意見交換を行いました。



中山町農業委員会の皆さんと当市農業委員会

編集後記

去年は記録的な猛暑と渇水の影響で米の等級が低下し多大な被害となりました。

6月末からの米の在庫不足に国民が心配しています。9月の新米出荷で流通量増加が期待されています。

皆さんのご尽力のおかげで安定的に供給でき、国民食として感謝されるでしょう。

編集委員 渡辺 清滋